

授業科目名 (英文名)	情報処理応用 (C) (Applied Information Processing)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	石井 良樹	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：「情報処理基礎」を履修した学生がデータ処理の基礎的な知識と技能を習得し、併せて初歩的な統計の概念を理解することを目的とする。</p> <p>到達目標：データを処理、分析するための技法の習得と、興味あるテーマの仮設定と前述の技法を適用した調査、分析を行えること</p>		
講義内容・授業計画	<p>・講義内容 データ処理の基礎的な知識習得と初歩的な統計の概念理解のため、PC実習を行いながら、下記の授業計画に従って講義を行う。</p> <p>・授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、データの平均（さまざまな平均） 2. データの分散 1（分散、標準偏差、四分位） 3. データの分散 2（偏差値、変動係数） 4. 度数分布（頻度計算、ヒストグラム） 5. 相関関係 1（共分散、相関係数、回帰直線） 6. 相関関係 2（決定係数、散布図と近似曲線、クロス集計表） 7. 乱数 1（乱数の使い方） 8. 乱数 2（乱数によるシミュレーション入門）確率分布 1（確率分布の基礎） 9. 中間テスト 10. 確率分布 2（2項分布） 11. 確率分布 3（2項分布における理論と実験） 12. 確率分布 4（幾何分布、ポアソン分布） 13. 確率分布 5（正規分布） 14. 確率分布 6（種々の分布と正規分布の関連性、標準正規分布） 15. まとめ <p>（授業の構成や進め方によって、内容が前後・変更することもあるので担当者の指示に従って下さい）</p>		
テキスト	白石修二 著「例題で学ぶExcel統計入門 第2版」森北出版 (大学生協で購入可能)		
参考文献	授業中に必要に応じて指示する。		
成績評価の基準・方法	レポート課題を数回課す。定期試験は実施しない。授業時間内に小テストを実施する。 評価は、平常点（30%）とレポート課題・小テスト（70%）で行う。		
履修上の注意・履修要件	<p>「データサイエンス入門」もしくは「情報処理基礎」を履修済みであること。 PC教室（定員60名）で演習を行うが、コロナ感染症対策により、人数を1クラス当たり30名程度を上限とする。</p> <p>1回目のガイダンス時に、出席者及びクラス履修予定人数の確認を行う予定で、そのクラス分け結果を学務課掲示板等に掲示する予定である。</p> <p>上限30名を大幅に超える場合、履修制限を行う予定なので、1回目のガイダンスには必ず出席し、やむを得ず欠席する場合は、学務課等に連絡の上で対応すること。</p> <p>履修制限に関する詳細については、後期開始時に学務課掲示板等にも掲示するので、受講予定の学生は確認しておくこと。</p> <p>出席回数が講義回数の2/3程度以上の受講者を評価の対象とする。</p> <p>なお、上記は対面授業を行う場合であり、今後の情勢によっては、全てをオンライン授業へ移行することも考えられる。その場合、自宅等で全ての受講及び演習を行うことになるため、下記環境を参考にPCやネットワーク環境の準備を行っておくこと。 OS: Windows (大学PCでのバージョンは10)</p>		

	Office : Microsoft Office (大学PCでのバージョンは2016) をインストール済 無料で利用できるMicrosoft OfficeのWebオンライン版での受講及び演習は不可とする もし、自宅等のPCやネットワーク環境に疑問点がある場合は、事前に学務課に相談しておくこと。
実践的教育	該当しない
備考	<ul style="list-style-type: none">・国際商経学部の学生、及び、経済学部の学生を対象とする。・統計の概念が容易に理解できるように、例題を初歩的なものから取り上げる。